

特集

仲間、学び、成長

異業種

経済

交流会

後編

前編は
4月号に掲載

ハママツベンチャートライプ

浜松市倫理法人会

遠州ビジネス交流会

浜松で活動している経済交流会や勉強会を

前編・後編にわたって紹介する本特集。

前編では、年齢制限付きの青年団体や、当所の青年部および女性会など、

比較的スタンダードな活動を行っている団体を取り上げた。

一方、後編では、ベンチャー企業の集まりや、

独自のスタイルで活動を行っている団体など、

進取の発想やユニークな取り組みが注目されている団体を紹介する。

「経営者は孤独である」という思いから脱したい人、

自分を変えたい人、異業種とビジネス交流をしたい人……

前編・後編を通読の上、自分に合った団体を検討してはいるかだろうか。





ベンチャーマインドに燃える部族が 浜松の産業界に新風を巻き起こす

浜松に本気でベンチャーの風を吹かそうと

ベンチャー起業家の5人の精鋭たちが新グループを立ち上げた。

その一挙一動に浜松市内外の各方面から注目が集まっている。

発起人の株式会社ノキオ代表取締役、小川健三氏に

発足の経緯や今後の展望について伺った。

——ハママツベンチャートライブ

は小川さんをはじめ、パイフット

ニクスの池田貴裕氏、リンクウイ

ズの吹野豪氏、こころの渡邊一博氏、

スプライザの土井寛之氏という5

人のベンチャー起業家が中心となっ

て活動されていますが、発足に至っ

た経緯と目的を教えてください。

彼らとは以前、浜松イノベーション

シキープを利用していたことが

きっかけで知り合いました。互い

に創業から5〜10年程度経ちまし

たが、それぞれにシビアな経験を

経ながらも、使命感を持って走り

続けていて、5人が集まると本当

に良い空気感の中で濃密な時間を

過ごせるんです。だから、こうし

た空気感を発する場を増やして、

ベンチャーに懸ける熱量とスピ

リットを共有する仲間を増やし、

共に成長していくことを目的にベ

ンチャートライブを発足しました。

トライブとは「部族」の意味ですが、

ベンチャーマインドに燃える部族

が「自分たちの力で浜松にベン

チャーの風を吹かせよう」という

思いを込めています。

僕らが目指すのは、行政や支援

機関のお膳立てに頼らず、起業家

たちがあくまでも独自の力で成長

の場をつくること。そして、自ら

が築いた場に行政や支援機関を招



2017年9月に行われたキックオフイベント、Hamamatsu Venture Tribe 1st Meetup。会場となったリンクウイズのオフィスには浜松市長をはじめ約50人が集結。メンバーらが意気込みを語ったほか、ピッチや交流会が行われた

ハママツベンチャートライブ

いて、逆にこちらから具体的な支援を要求できるコミュニティにしたいと考えています。

—— 会員資格や運営組織はどのようになっていますか。

今はまだ組織の形を作っている段階なので、当面は決め事を特にならず、緩いコミュニティの状態がいいと思っています。後々、会費や組織化が必要になるかもしれないが、「会費を払ったから僕もベンチャートライブだよ」というのはちよつと違うと思うんですよ。だから、自然発生的に広がっていくのが理想です。

—— 現在はどうのような活動を行っていますか。

3カ月に1度ミートアップを開催し、ベンチャー起業家たちが5分程度で事業計画を語る「ピッチ」と交流会を行っています。開催にあたっては、アントレプレナー（起業家）やイントレプレナー（社内起業家）、行政や支援機関、投資家、ベンチャーキャピタルに対してメンバーが個別に声を掛け、毎回約50人前後が参加しています。彼ら

の中には東京や名古屋など、浜松以外からの参加も多いですね。外の情報に触れることは浜松の起業家たちにとって良い刺激になるし、ビジネスパートナーも見つかるかもしれないので、メリットも大きいと思います。

ベンチャー企業の躍進で 浜松がステージアップする

—— では、ベンチャートライブの仲間になりたい場合はどうしたらいいですか。

そうだなあ……メンバーの誰かをつかまえて直談判してください（笑）。適当なことを言っているようですが、実はそれが重要なステップなんです。ただ申込書に記入すれば入会できるのではなく、ツテをたどってメンバーを紹介してもらい、自分の思いを「語る」という過程が、コミュニティの温度感の維持につながります。

何かをしたいという思いがあっても、それを人に語るとなると、「そんな夢みたいな話……」と嘲笑さ

れそうで勇気が要りますよね。でも、シリコンバレーでは、どんな夢でも応援してくれる雰囲気があるんですよ。

僕は浜松をそんなふうにしていきたい。将来のビジョンを人前で語れる人が増えてこない、これからの日本は傾いてしまいます。だから、まずは臆せず夢を語れる場を作るのがベンチャートライブの役割の一つでもあります。

—— 今後の展望や抱負は？

部族の仲間たちが事業をスケールさせ、社会的にインパクトを与

える存在に成長していくことが第一の目標です。これから3年後、5年後に浜松からベンチャーの上場企業が出てくれば、浜松の産業もステージアップするでしょう。そして将来的には、子どもたちの職業選択肢に「起業家」が入ってくると思います。



発起人
小川 健三
おがわ けんぞう
株式会社NOKIOO（ノキオ）
代表取締役

自己診断項目

2世会員の割合	[多い]	☐ ☐ ☐ ☐ ☒	[少ない]
在籍企業の規模	[大きめ]	☐ ☐ ☐ ☐ ☒	[小さめ]
活動エリア	[広い]	☐ ☐ ☒ ☐ ☐	[狭い]
保守 or 革新	[保守的]	☐ ☐ ☐ ☐ ☒	[革新的]
規律・雰囲気	[緩い]	☐ ☒ ☐ ☐ ☐	[厳しい]
会のノリ	[体育系]	☐ ☐ ☒ ☐ ☐	[文化系]
会員同士の関係	[がっちり]	☐ ☐ ☒ ☐ ☐	[さっぱり]
会員のタイプ	[肉食系]	☒ ☐ ☐ ☐ ☐	[草食系]

設立年 2017年 卒業 なし 会員数 5人

入会資格 ベンチャーマインドを持っている人

会費 なし（イベント参加費1000～2000円のみ）

主な活動実績

- ▶ 「Hamamatsu Venture Tribe 1st Meetup」（2017年9月）
- ▶ 「Hamamatsu Venture Tribe 2nd Meetup」（2017年12月）
- ▶ 「Hamamatsu Venture Tribe 3rd Meetup」（2018年3月）